



福島医発第0673号(地)

平成23年 6月 10日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻 一 良

(公印省略)

「第23回アジア太平洋こども会議・イン福岡」の医療体制について (お願い)

標記の件につきましては、平成3年度より各郡市医師会にご協力いただいているところで、今年は7月15日から26日までの日程で、全31カ国・地域41団、213名のこども大使達が来福し、福岡市及びその周辺に於いて「第23回アジア太平洋こども会議・イン福岡」が開催される予定となっており、その会議開催期間中の医療体制について本会へ別紙のとおり協力依頼がありました。

そこで、平成23年6月8日開催の本会第7回全理事会で協議の結果、本会といたしまして、協力することといたしました。

つきましては、貴会におかれましてもご協力賜りますようご高配方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 海外からのこども会議参加者は、下記保険会社の海外旅行傷害保険に加入しています。
2. ホームステイ中、会議参加者が、けが及び病気にかかった時は、別添「第23回アジア太平洋会議・イン福岡 医療のしおり」中の医療費請求用紙P4(病院用)・P5(薬局用)、医療診断書 Medical Certificate (メディカルシertificate)を持参のうえ、ホストファミリーと一緒に医療機関へ訪問します。
3. 診察後、持参された医療費請求用紙に必要事項を記入のうえ、富士火災海上保険株式会社福岡支店へ直接ご郵送下さい。

後日、保険会社より請求金額がご指定の口座へ振り込まれます。

※保険点数は1点単価20円をお願いいたします。

《 郵 送 先 》

富士火災海上保険株式会社 福岡支店 営業第2課 担当：近藤

〒810-8637 福岡市中央区大名2-4-35

TEL 092-712-0495

FAX 092-731-7699



2011年6月1日

(社) 福岡県医師会 御中

第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 実行委員会
実行委員長 毛利 文彦
(公印省略)

第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 医療体制について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

1989年アジア太平洋博覧会の参加事業として第1回を開催いたしました「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」も、今年で第23回目を迎えることとなりました。これもひとえに皆様方のあたたかいご支援・ご協力のおかげと厚く感謝いたしております。

さて、本年度は7月15日から26日までの日程で、31カ国から41団、計213名の子ども達が来福する予定です。ホームステイや、日本の子ども達約250名と海外からの参加者約300名が一同に集う交流キャンプ、天神中心部を舞台に行われる親子参加のフォトウォーク等、様々なプログラムを通して、アジア太平洋地域の参加者と福岡の人々が新たな国際交流の掛け橋となってくれることを切に希望しております。

実行委員会一同、医療体制におきましては万全を期して本番に臨めるよう努力いたしております。つきましては、当事業への趣旨をご理解頂き、会議開催中の参加者のけが・病気発生に対してスムーズに対処し、全員をたくさんの思い出とともに無事本国へ返せるよう何卒ご協力をお願い申し上げます。

以上、略儀ながらご挨拶方々お願い申し上げます。

敬具

《添付資料》

- | | | |
|-------------------------|-------------|----|
| 1. 第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 | 事業計画書 <第1版> | 1部 |
| 2. 第22回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 | 記念誌 | 1部 |
| 3. 第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 | 医療のしおり | 1部 |

<NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡>
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 市役所北別館 5階
TEL : 092-734-7700 FAX : 092-734-7711
医療部会 担当：峯 久美子



第23回年度 事業部 事業概要

第23回アジア太平洋こども会議・イン福岡実行委員会

I. 派遣事業

春休み期間中に日本(福岡)のこども達を海外に派遣し現地でのホームステイや学校訪問など生活文化を直に体験してもらうことで異文化への理解を深める。

- ＜事業目的＞ 夏の招聘事業によって福岡に根付いた草の根国際交流をより一層促進し、地球市民意識を育むこと
- ＜派遣期間＞ 日本の小学校春休み期間(3月25日から4月2日まで・派遣国による)
- ＜派遣国・地域＞ シンガポール、インドネシア、モンゴル、スリランカ、ハワイ、ニューカレドニア、モルディブ
- ＜派遣人数＞ 各国 団員 15名程度+正副団長3名
- ＜派遣の対象＞ 満10歳以上満15歳以下の青少年に対して公募
(小学4年生～中学3年生) + リーダーとして団員をとりまとめながらにホームステイと国際交流にチャレンジしたい高校生
- ＜特色＞ * 滞在期間中は可能な限り長い日程でホームステイを行う(3泊以上)
* 現地の学校を訪問 * 現地のこども達、各国ブリッジクラブと交流

II. 招聘事業

アジア太平洋各地からこども大使を招聘し、日本(福岡)でホームステイや学校登校、交流キャンプといった異文化交流を通じて、県市民、学校、地域での国際理解を推進する。

期間	2011年7月15日(金)～7月27日(水)全13日間	
招聘予定国・地域	33カ国・地域、43団	
招聘人数	こども大使	222名
	シャペロン	43名
	ピース大使	60名(BCIO本部メンバー3名含む)
	合計	325名

- ホームステイ** …福岡県内の一般家庭 325世帯に、招聘したこども大使、シャペロンがおおよそ1週間にわたってホームステイし、家族や地域の人々と交流を深める。
- オリエンテーションキャンプ** …招聘したこども大使らに、体調を整えてもらいAPCCへの参加意義、日本文化、生活様式を学ぶことを目的としたオリエンテーションキャンプ
- 交流キャンプ** …日本のこども達と海外のこども大使が一同に会し、寝食を共にし交流するキャンプ(場所:グローバルアリーナ)
- 情報発信イベント** …こども達による情報発信イベント
- ボランティア育成** …ボランティア募集広報やボランティア説明会・登録会を定期的の実施 ボランティアの研修、交流事業を実施
- PR** …参加募集、情報提供等をできるだけ多くの人々に告知・認知してもらう活動。
PRを兼ねたチャリティグッズの販売。活動取材しホームページにて情報発信

BC国際組織(BCIO)本部

ブリッジクラブ未設立国・地域への設立をさらに加速化し、各国BC間のネットワーク作りを強化していく。

- 1) ピース大使招聘、プログラム企画・運営
- 2) 情報収集、管理、発信
- 3) 組織強化のための人材育成としてインターンシッププログラム企画・実施

ブリッジクラブジャパン運営委員会

ブリッジクラブジャパンが海外のブリッジクラブ同様、主体的な行動ができるような体制を作る。

- 1) メンバー育成
- 2) BCJ独自活動の企画・実施

育成事業運営委員会

国際社会に向かって日本人としての自分が語れる国際友好派日本人を育成する

- 実施期間** 2009年12月～2011年4月(第2期生)
2010年12月～2012年4月(第3期生)
- 参加人数** 15名(第2期生) 30名(第3期生)
- 内容** 参加するこども達に実行委員会が提供するすべての交流事業(ホームステイ・派遣・交流キャンプ)に参加し、国際感覚を身につけつつ、郷土の歴史や文化に触れ、発信できるような講座やフィールドワークを体験してもらう。

行事日程

I. 派遣事業

シンガポール	3月27日～4月2日	ハワイ	3月25日～3月31日
インドネシア	3月27日～4月2日	ニューカレドニア	3月25日～4月1日
モンゴル	3月26日～4月1日	モルディブ	3月27日～4月2日
スリランカ	3月25日～3月31日		

II. 招聘事業

実施時期	主 な 行 事		
7月	15	金	入国→オリエンテーションキャンプ(1泊)翌日からHS
	16	土	入国→オリエンテーションキャンプ(1泊)翌日からHS
	17	日	入国→オリエンテーションキャンプ(1泊)翌日からHS
	18	月	ホームステイ 情報発信事業
	19	火	ホームステイ
終業式	20	水	ホームステイ
夏休み	21	木	ホームステイ
	22	金	※交流キャンプ(1泊2日)
	23	土	↓
	24	日	ホームステイ
	25	月	ホームステイ 出国
	26	火	ホームステイ 出国
	27	水	出国

<ピース大使プログラム>

入国→キャンプ→翌日からHS

入国→キャンプ→翌日からHS

入国→キャンプ→翌日からHS

ホームステイ 情報発信事業

ホームステイ

ピース大使キャンプ

(2泊3日)

↓ 交流キャンプへ合流

交流キャンプ

ホームステイ

ホームステイ 出国

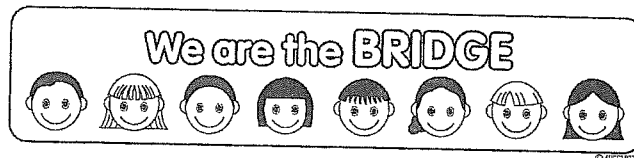
ホームステイ 出国

出国

HS=ホームステイ

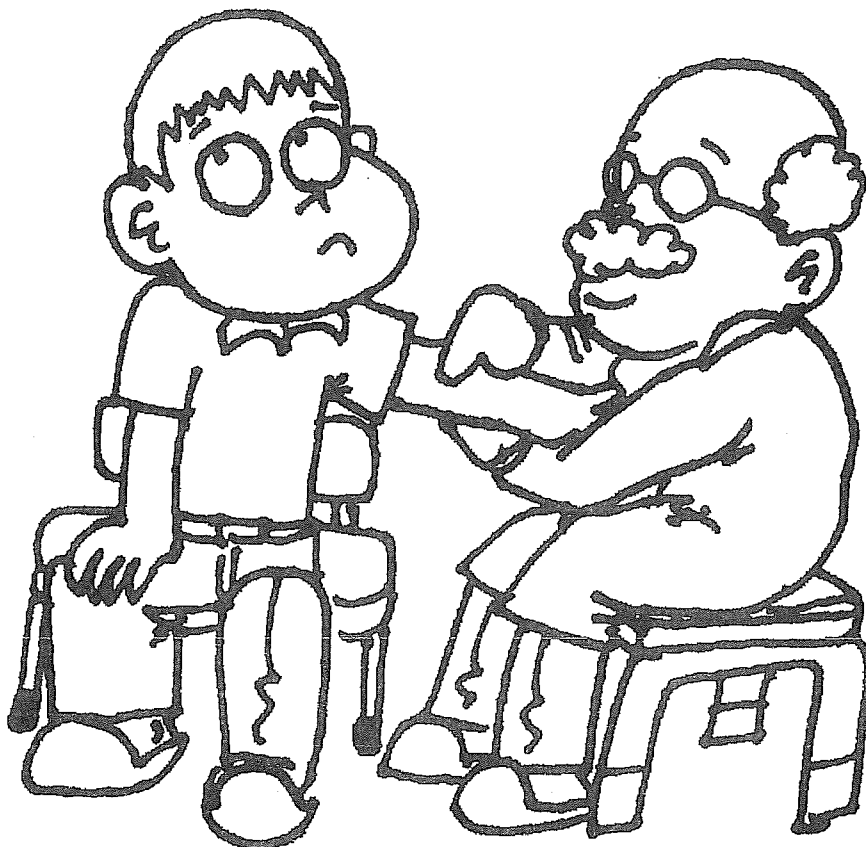
※ 交流キャンプ 7月22日(金)～23日(土)

海外のこども大使と福岡のこども達が1泊2日でグローバルアリーナ(宗像市)に泊まる交流キャンプ



第23回アジア太平洋こども会議・イン福岡

医療のしおり



IDNO. _____

ホストファミリー名 _____

ホームステイ中、こども大使やシャペロン、ピース大使の体調が悪くなったり病院へかかる場合はどうすればいいの??

ホームステイ中は、異国の地で環境が急変する上、精神的な緊張感なども加わり、体調を崩す参加者もいるかもしれません。こども会議開催期間が、夏の一番暑い時期ということもありますので、水分の補給はいつでもできるようにし、また疲れている様子であれば十分な休息を与えるよう注意をして下さい。

海外からのこども会議参加者は下記の保険会社の海外旅行傷害保険に加入しており、母国を出発してから到着するまでの間に発生した医療費は全額（但し、保険金額の範囲内）支払われます。万一、事故・病気で病院へかかる場合には、次の通り対処していただきますようお願い致します。

*****事故でけがをした時、または病気になった時の手順*****

①参加者に状態をよく聞いて対処して下さい。参加者がこども大使で、判断に困る場合には、シャペロンやAPCC事務局へ連絡をして、アドバイスを受けて下さい。※シャペロンのホームステイ先はすぐに分かるようメモをしておきましょう。

②自宅での休養や応急処置で治らない場合には、最寄りの病院で診察を受けて下さい。

③病院へ行く際は、下記の2点をご持参願います。

イ) 医療費請求用紙・診察を受ける病院の受付・処方箋を受けた薬局にお渡し下さい。

(病院用・薬局用は別フォームです。p4とp5の用紙をコピーしてご使用下さい。)

ロ) 医療診断書・・・こども大使が本国の医師の診察により、記入してもらっているものです。現地窓口より到着次第、皆様にお渡ししていますので必要に応じて医師に提示してください。(p2に見本あり。)

④医療費は、病院・薬局から医療費請求用紙を下記の保険会社へ郵送し、保険会社が後日、病院/薬局指定の口座へ代金を振込むシステムになっています。したがってホストファミリーが窓口で医療費を支払う必要はありません。(県と市の医師会・薬剤師会を通して、加盟医療機関にはお知らせしています)

⑤万一、ホストファミリーが医療費を立て替えた場合は領収書を添えて、医療費請求用紙を直接保険会社まで郵送して下さい。立て替えていただいた分の医療費は後日保険会社より支払われます。

※その際は振込口座名・番号のご記入を忘れずにお願いします。

⑥病院・薬局を利用した際はp6の報告書に記入の上、必ずこども会議事務局へご報告願います。

※報告なしで医療費請求用紙を郵送されても、保険会社から医療費が支払われませんので皆様のご協力をお願い致します。

報告必要事項：①参加者名前・IDナンバー・生年月日

②事故/病気発生日時・場所・状況(ex.階段で転んだ。夕食後急に腹痛を訴えた。)

※特に感染性の病気にかかった場合は、すみやかにこども会議事務局へご連絡ください。

<緊急連絡先>

◆NPOアジア太平洋こども会議・イン福岡(ホームステイ期間中は24時間対応)

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 市役所北別館5階 担当：峯

TEL：092-734-7700/FAX：092-734-7711

◆富士火災海上保険株式会社 福岡支店 営業第2課

担当：近藤

★医療費請求用紙郵送先 〒810-8637 福岡市中央区大名2-4-35

TEL：092-712-0495

FAX：092-731-7699

Medical Certificate 医療診断書

APCC ID No. Must be completed in ENGLISH and LEGIBLE CHARACTER by a qualified physician

Name (名前)					
Name of Country Region (国・地域)					
Sex (性別)	☐ M (男) ☐ F (女)				
Date of Birth (生年月日)	Month		Date		Year
Blood Type (血液型)				RH factor:	
Normal Blood Temperature (基礎体温)			Height (身長)	cm	
Weight (体重)	kg		Shoe Size (靴のサイズ)	cm	

I. Medical History 病歴: Please indicate whether the patient is suffering from or has suffered from any of the following and add any other conditions. 下記あるいはその他の病歴があれば、記入して下さい。

Condition 病名	Details 詳細	Date of last symptoms 最後に発症した日	Condition 病名	Details 詳細	Date of last symptoms 最後に発症した日
Asthma 喘息			Tuberculosis 結核		
Diabetes 糖尿病			Epilepsy てんかん		
Malaria マラリア			Chicken Pox 水ぼうそう		
Ear Infections 耳鼻疾患					

II. Immunization History 予防接種歴: Please indicate the disease and when. 下記の予防接種を受けましたか？最新

Vaccination 予防接種	Infected Date 既往日	Immunized Date 接種日
Measles はしか		
Mumps おたふく風邪		
Rubella 風疹		
Polio ポリオ		
Tetanus 破傷風		

already been immunized or infected by
は既往症の場合は日付を書いて下さい。

Condition 病名	Infected Date 既往日	Immunized Date 接種日
Tuberculosis (is) 肺結核		
Hepatitis 肝炎		
Encephalitis 日本脳炎		
Influenza 型インフルエンザ		

III. Allergies アレルギー: Please list anything that your patient is allergic to. アレルギーがある場合、原因となるものを列記して下さい。

IV. Medications 治療: Please list any medication that your patient is currently using and the condition for which it has been prescribed, especially if any medical equipment is used. (inhaler, etc.) 治療中の場合、病状と処方箋を述べて下さい。

Condition or Symptoms (病気または症状)	Prescribed Medication (処方箋)
1.	
2.	

V. Physical Disabilities 四肢の障害: Please give information about any conditions that restrict your patient's movement. 詳しく記入して下さい。

VI. Travel Related Conditions 旅行関係: Does your patient suffer from travel sickness or inner ear problems?

Travel Sickness 車酔い Yes ☐ No ☐

Inner Ear Problems 耳鼻疾患(中耳炎など) Yes ☐ No ☐

VII. Additional Information その他の情報: Please give any information that may be relevant when staying with a Host Family.

authorize the applicant as healthy and do not anticipate problems in participating in any activities of the 3rd APCC Invitation Project. この参加者は第23回APCCの招聘事業に参加するにあたり、心身ともに問題ありません。

Examined by (print name)	Date of Examination
Doctor's Signature	

ホームステイ期間中の医療体制 添付資料

海外参加者を病院へ連れて行く際には、まずはお近くのかかりつけ医のところへ行かれて下さい。

福岡市・福岡県の救急対応については、下記を参考にしてください。

◆福岡市急患診療センター

福岡市早良区百道浜 1-6-9

(092) 847-1099

診療日	受付時間	診療科目
平日 (月曜～金曜)	午後 7 : 30 ～翌日午前 6 : 30	内科・小児科
土曜	午後 7 : 00 ～翌日午前 7 : 30	内科・小児科
休日 (日曜・祝日)	午前 9 : 00 ～翌日午前 7 : 30 (※眼科・耳鼻咽喉科は 午後 11 : 30 まで)	内科・小児科・外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科

◆福岡県救急医療情報センター (092) 471-0099

※同センターでは、24時間、無休で医療機関を紹介しています。

※ 各病院に連絡を入れる際と、受付をする際には必ず「アジア太平洋子ども会議」のホストファミリーである旨を伝えるようにして下さい。

持参するもの：①医療費請求紙(病院・薬局用) p4～5 コピーして

②医療診断書 ^{メデイカル} Medical Certificate ^{サーティフィケート} p2 見本

医療機関を利用した際は、必ず下記子ども会議事務局までご報告願います。(P.6)

《連絡先》NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡(担当：峯)
〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 市役所北別館5階
TEL: 092-734-7700 / FAX: 092-734-7711
(期間中は24時間スタッフが対応します)

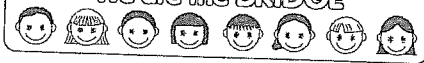
病
院

《郵 送 先》

富士火災海上保険株式会社
福岡支店 営業第2課 担当：近藤
〒810-8637 福岡市中央区大名 2-4-35
TEL: (092) 712-0495 FAX (092) 731-7699

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡

We are the BRIDGE



医療費請求用紙【病院用】

氏名						男・女	歳
国名							
IDナンバー ()							
上の空欄はホストファミリーでご記入をお願い致します。							
発病／事故日	平成 23 年	月	日	午前・午後		時 頃	
治療期間	平成 23 年	月	日～	月	日	(日間)	
病院	症状						
	治療費						
	病院名						
	住所						
	TEL						
	印						
	担当						
	平成 23 年 月 日						
振込先	銀行名 _____ 支店名 _____ 支店						
	口座番号 _____ (普通／当座)						
	(フリガナ)						
	口座名義						
本用紙に必要事項をご記入後、上記保険会社宛 郵送してください。							

後日、保険会社より請求金額がご指定の口座へ振り込まれます。
別途、薬局での支払いが発生した場合には 薬局用の用紙をご利用ください。症状によっては診療報酬明細の添付をお願いする場合があります。

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡 医療部会 担当：峯
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 5 階
TEL 092-734-7700 FAX 092-734-7711

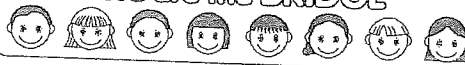
薬局

《郵送先》

富士火災海上保険株式会社
福岡支店 営業第2課 担当：近藤
〒810-8637 福岡市中央区大名2-4-35
TEL: (092) 712-0495 FAX(092) 731-7699

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡

We are the BRIDGE



医療費請求用紙【薬局用】

氏名						男・女	歳
国名							
IDナンバー ()							
上の空欄はホストファミリーでご記入をお願い致します。							
発病／事故日	平成 23 年	月	日	午前・午後		時頃	
治療期間	平成 23 年	月	日～	月	日	(日間)	
薬局	症状						
	治療費						
	薬局名						
	住所						
	TEL						
	印						
	担当 平成 23 年 月 日						
	振込先						
銀行名 _____ 支店名 _____ 支店							
口座番号 _____ (普通／当座)							
(フリガナ) 口座名義							
本用紙に必要な事項をご記入後、上記保険会社宛 郵送してください。							
後日、保険会社より請求金額がご指定の口座へ振り込まれます。							

病院での支払いには 病院用の用紙をご利用ください。

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡 医療部会 担当：峯
〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館5階
TEL 092-734-7700 FAX 092-734-7711

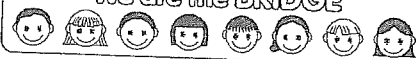
ホ
ス
ト
フ
ア
ミ
リ

《郵送・FAX 送付先》

NPO アジア太平洋子ども会議・イン福岡
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1
市役所北別館 5F
TEL: (092) 734-7700 FAX(092) 734-7711
医療担当: 峯

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡

We are the BRIDGE



医療機関を利用された場合は本用紙に必要な事項をご記入の上、
子ども会議事務局へFAX、郵送のいずれかにて報告してください。

* 報告がない場合、医療費の支払いが出来ない場合があります。

必ずご報告していただきます様よろしくお願いします。

＜医療機関 利用報告用紙＞

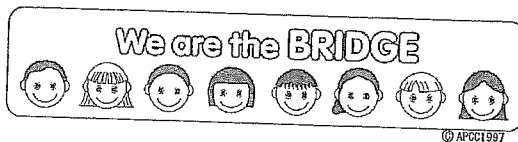
FAX:092-734-7711

氏名:	ID ナンバー:	性別:男・女	歳
生年月日: (西暦) 年 月 日			
国名()			
ホストファミリー名()			
発病/事故日	平成23年	月	日
		午前・午後	時頃
症状	例)夕食後に腹痛を訴えた/階段から転んで肘を打った など...		
病院名			
薬局名			

＜報告・提出先＞

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 市役所北別館5階
TEL:092-734-7700 FAX:092-734-7711

医療担当: 峯



—その他の事項—

●海外旅行傷害保険について●

旅行中に発生したケガ、病気については保険適応が可能です。それ以外の疾病(例として… 歯科治療・持病の悪化、便秘、他覚症状のないむちうち症、腰痛)などは保険適応外となります。

このような症状で歯科や病院を受診される際には治療費が自己負担となりますので受診前に参加者へよく確認してください。また、受診者がこども大使の場合にはシャペロンにも症状・治療費自己負担の確認をお願い致します。

近年、渡航中やキャンプ、ホームステイ期間中の水分不足が原因で便秘になり、腹痛(便秘)を訴える参加者が増えています。ホームステイ期間中にはこまめな水分補給・体調管理をお願い致します。

(上記の情報は事前に参加者には伝えてあります。)

保険適応の可否など、ご心配な点は APCC 実行委員会までお問い合わせください。

●頭ジラミに関して●

日本入国前に発見されている場合は、自国において、できる範囲の駆除をしてくよう各国窓口へ連絡をしております。また到着後に発見された場合にはマリンハウス滞在中に専用シャンプーの使用を行い最低 1 回は駆除の対応をしておりますが、完全駆除に至っていない場合もあります。マリンハウス退館時には、使用途中のシャンプーをホストファミリーさんにお渡ししますので、ホームステイでもシャンプー使用のご協力をお願いします。

●こども達の爪を確認してあげてください●

よく見てみると、「足の爪を伸ばしたまま」になっているこども大使がいます。(キャンプ中に気がついた際には切るように指導しています)また、日頃、コンクリートの上を歩きなれていないこども大使は裸足で活動中にケガをしやすい様です。そのままにしておくと、遊んでいるときやプールの際に爪が剥がれる、割れる、など、とても痛い思いをすることになってしまいますので気がついた際には切らせておくようお願い致します。

●外出の際には帽子の着用、水筒を忘れずに●

熱中症や熱射病を予防するためにも帽子の着用、こまめな水分補給を行いましょう。水分不足による腹痛や便秘の予防にもなります。

●感染性の病気感染拡大防止のために●

ホームステイ直前やホームステイ期間中、ホストファミリーさんのご家族のどなたかが人にうつる病気(水ぼうそう、おたふくかぜ、はしか、インフルエンザなど)にかかった場合は、参加者間の感染拡大を防止するため、すみやかに APCC 実行委員会にお知らせください。

ホームステイ中、こども大使やシャペロンピース大使がインフルエンザはもちろん、その他病気やけがをした場合にも APCC 実行委員会にお知らせください。